



釜山大学校との覚書（MOU）締結で日韓海峡圏カレッジ、いよいよスタート

概要

5月16日、韓国研究センターは、平成23年度文部科学省採択事業である日韓海峡圏カレッジについて、相手校である大韓民国・釜山大学校と覚書（MOU）を締結し、25日には74名の応募者の中から選ばれた九州大学参加者10名が決まりました。日韓海峡圏カレッジは、九州大学と釜山大学校の学部1年生が、夏季休暇の2週間の間、相互のキャンパスを共有し、アジアの次世代リーダーとなるべく共に学ぶものです。学内での特別講義だけでなく、福岡・釜山のトップ企業でのインターンシッププログラムや様々な文化交流プログラムを行います。

背景

「日韓海峡圏カレッジ」は、「CAMPUS Asia」構想を見据えたパイロットプログラムであり、世界に向かう視野を醸成してアジアの次世代リーダーとなる人材を養成するものです。

内容

覚書（MOU）締結について

締結日：2011年5月16日（月）

締結場所：大韓民国 釜山広域市 釜山大学校 対外交流本部

締結当事者：九州大学側 韓国研究センター センター長 松原 孝俊（まつばら たかとし）

釜山大学校側 対外交流本部 本部長 朴 成勲（パク ソンフン）

提携による活動内容：日韓海峡圏カレッジプログラムの新設・実施

効果

学生の国境を越えた自由な移動を確保し、日韓両国の最高レベルの教育研究資源を共有すると共に、容易に研究のホットスポットや韓国の最先端研究施設における研修を可能にする「日韓海峡圏カレッジ」は、日本で最初の試みです。

今後の展開

今年度は、まず九州大学の学生を8月16日から23日まで釜山大学校に派遣し、現地で釜山大生とともに「キャンパス釜山」として、釜山大学校での英語による講義のほか、韓国の一流企業でのインターンシップや様々な機関の訪問を行います。次に、8月23日から30日までは、九大の学生、釜山大学校の学生共に本学において「キャンパス福岡」として九大での講義、福岡のトップ企業でのインターンシップ、ディスカッションなどを行い、交流を深めます。

また、夏季の「キャンパス釜山」「キャンパス福岡」だけでなく、6月から3月まで、本事業参加者のためだけに会話中心・少人数制語学授業である「語学マスターコース」を開設します。参加者は、英語並びに韓国語を集中的にスキルアップできます。

今回、1年生に限った募集にも関わらず、10名の定員に対し74名もの応募が殺到しました。7.4倍の倍率をくぐり抜けた10名が、来月6月1日の事前研修で初めて顔を合わせます。

【お問い合わせ】

韓国研究センター 日韓海峡圏カレッジ

テクニカルスタッフ 岩本 美奈

電話：092-642-2748

FAX：092-642-4359

Mail：kaikyo@jimu.kyushu-u.ac.jp